＜2006 年　千葉大学環境健康フィールド科学センター　研究業績＞

1. 研究論文・短報

深田秀樹・櫻井健一・松野義晴・持田陽司・小宮山政敏・戸髙恵美子・武城英明・齋藤　康・森　千里：コレスチミドによる体内ダイオキシン及び PCB の低減．臨床環境医学，15: 35-40

Ikegami, F., M. Sumino, Y. Fujii, T. Akiba, T. Satoh: Pharmacology and toxicology of Bupleurum root-containing Kampo medicines in clinical use. Human Experimental Toxicology, 25: 481-494

喜多敏明：漢方受療者の QOL 低下タイプ分類と東洋型未病対策への活用. 日本未病システム学会雑誌, 12: 158-161

喜多敏明・角野めぐみ・檜山幸孝・並木隆雄・関矢信康・笠原裕司・地野充時・林　克美・平崎能郎・大野賢二・寺澤捷年：　腹部膨満感に?帰調血飲が奏効した二例．漢方の臨床，53: 2054-2059

Koh, K.-B., Y. Toyama, M. Komiyama, T. Adachi, H. Fukata and C. Mori: Neonatal administration of diethylstilbestrol has adverse effects on somatic cells rather than germ cells. Reproductive Toxicology, 22: 746-753

Kokubun, H., M. Nakano, T. Tsukamoto, H. Watanabe, G. Hashimoto, E. Marchesi, L. Bullrich, I. L. Basualdo, T-h. Kao, T. Ando: Distribution of self-compatible and self-incompatible populations of Petunia axillaris (Solanaceae) outside Uruguay. J. Plant Research, 119: 419-430

Kusama-Eguchi, K., A. Suda, F. Ikegami, T. Kusama, Y. Ogawa, K. Watanabe: Neurotoxicity and pharmacology of Lathyrus sativus extracts of high- and low-toxicity strains. J. Nat. Med., 60: 107-112

Matsubara, K., S. Chen, J. Lee, H. Kodama, H. Kokubun, H. Watanabe, T. Ando: PCR-based markers for the genotype identification of flavonoid-3', 5'-hydroxylase genes governing floral anthocyanin biosynthesis in commercial petunias. Breeding Sci., 56: 389-397

松野義晴・戸髙恵美子・小宮山政敏・深田秀樹・門田朋子・森　千里：環境生命医学教室における研究．千葉医学雑誌，82: 35-38

Nakamura, K., K. Matsubara, H. Watanabe, H. Kokubun, Y. Ueda, N. Oyama-Okubo, M. Nakayama, T. Ando: Identification of Petunia hybrida cultivars that diurnally emit floral

fragrances. Scientia Horticulturae, 108: 61-65

Nakamura, T., N. Komai, I. Isogami, K. Ueno, F. Ikegami, K. Ono, S. Yano: Memory and learning-enhancing effect of Daikenchuto, a traditional Japanese herbal medicine, in mice. J. Nat. Med., 60: 64-67

Ohkawa, K., H. Ohara, Y. Kurita, T. Fukuda, Z.U. Khan, H. Matsui: Thinning effect of jasmonic acid derivative, *n*-propyl dehydrojasmonate on Japanese pear 'Hosui'. J. Japan. Soc. Hort. Sci., 75: 129-134

大川克哉・白石奈穂・小原　均・松井弘之： 数品種のニホンナシに対するエセフォンの摘花効果．園芸学研究，5: 69-73

大川克哉・白石奈穂・小原　均・松井弘之： ニホンナシに対するエセフォンの摘花作用．園芸学研究，5: 171-177

Ohmichi, K., M. Komiyama, Y. Matsuno, Y. Sawabe, H. Miyaso, H, Fukata, M. Ohmichi, T. Kadota, F. Nomura and C. Mori: Relationship between exposure to formaldehyde and immunoglobulin E (IgE) production during the gross anatomy laboratory. J. of Health Sci., 52: 642-647

Ohmichi, K., M. Komiyama, Y. Matsuno, Y. Takahashi, H. Miyamoto, T. Kadota, M. Maekawa, Y. Toyama, Y. Tatsugi, T. Kohno, M. Ohmichi, C. Mori: Formaldehyde exposure in a gross anatomy laboratory - personal exposure level is higher than indoor concentration. Environ. Sci. and Pollution Res. Intl., 13: 120-124

小原　均・岩楯麻由・棟方千夏・山下裕之・大川克哉・三輪正幸・松井弘之： ブドウ'甲州'，'コンコード'および'ナイアガラ'の無種子果形成について．J. ASEV Jpn., 17: 14-20

大野賢二・鄭　和珍・丸山征郎・喜多敏明・寺澤捷年・谿　忠人： 血管内皮細胞傷害後の内膜肥厚病変を予防する漢方方剤－防風通聖散を中心にして－．日本未病システム学会雑誌，12: 62-64

Phip, N. T., H. Nojima, T. Tashiro: Effect of Seed Selection Based on Seed Weight and Specific Gravity on Seed Germination and Seedling Emergence and Growth in Angelica acutiloba Kitagawa. Jpn. J. Trop. Agr., 50: 154-162

Sakurai, K., H. Fukata, E. Todaka, Y. Saito, H. Bujo, C. Mori：Colestimide Reduces Blood Polychlorinated Biphenyl (PCB) Levels. Internal Medicine, 45: 327-328

関矢信康・地野充時・後藤博三・柴原直利・嶋田　豊・喜多敏明・寺澤捷年： 九味檳榔湯の使用目標と適応症．日本東洋医学雑誌，57: 333-338

関矢信康・地野充時・小暮敏明・巽　武司・引網宏彰・柴原直利・喜多敏明・寺澤捷年： 腸癰湯が有効であった 9 症例に基づく使用目標の検討．日本東洋医学雑誌，57: 443-447

関矢信康・地野充時・小暮敏明・巽　武司・喜多敏明・寺澤捷年： 真武湯が奏功したアレルギー性鼻炎の 2 症例．日本東洋医学雑誌，57: 213-216

関矢信康・林　克美・檜山幸孝・笠原裕司・大野賢二・地野充時・並木隆雄・平崎能郎・喜多敏明・寺澤捷年： 進行癌に対する漢方随証治療の効果．漢方の臨床，53: 2043-2053

杉山泰之・大城　晃・濵﨑　櫻・澤野郁夫・小原　均： ウンシュウミカン'青島温州'の樹体内デンプン含量の時期的変化と冬季の根中デンプン含量による着花量予測．園芸学研究，5: 277-282

Takashima-Sasaki, K., M. Komiyama, T. Adachi, K. Sakurai, H. Kato, T. Iguchi, C. Mori: Effect of exposure to high isoflavone-containing diets on prenatal and postnatal offspring mice. Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry, 70: 2874-2882 (BBB 2006 年優秀論文賞)

Yahata, S., M. Miwa, H. Ohara, K. Ohkawa, H. Matsui: Effect of application of gibberellins in combination with forchlorfenuron (CPPU) on induction of seedless fruit set and growth in triploid loquat. Acta Hort., 727: 263-267

八幡茂木・三輪正幸・佐藤三郎・小原　均・松井弘之： 三倍体ビワに対する GA3 と CPPU 処理が無種子果の生長と品質に及ぼす影響．園芸学研究，5: 157-164

Yamazaki, K., T. Adachi, K. Sato, Y. Yanagisawa, H. Fukata, N. Seki, C. Mori, M. Komiyama: Identification and characterization of novel and unknown mouse epididymal-specific genes by complementary DNA microarray technology. Biology of Reproduction, 75: 462-468

---

2. 著書・訳書

池上文雄： 自然が生む健康－植物の不思議な力－．第 5 回 HAB 研究機構市民公開シンポジウム「漢方薬の効能と正しい使い方」，HAB 研究機構叢書，Vol. 5, pp. 23-40

池上文雄： 薬草に学ぶ健康の知識－四季折々の薬草－．医食農同源のサイエンス（安藤敏夫・池上文雄・塚越　覚・野田勝二　編），サイエンスハウス，東京，pp. 102-128

池上文雄： 自然がはぐくむ健康－医食農同源のサイエンス－．医食農同源のサイエンス（安藤敏夫・池上文雄・塚越　覚・野田勝二　編），サイエンスハウス，東京，pp. 139-147

喜多敏明： 東洋医学と自然治癒力－漢方薬で元気を回復－．医食農同源のサイエンス（安藤敏夫・池上文雄・塚越　覚・野田勝二　編），サイエンスハウス，東京，pp. 29-41

喜多敏明： 東洋医学とストレス－漢方薬で心のケア－．医食農同源のサイエンス（安藤敏夫・池上文雄・塚越　覚・野田勝二　編），サイエンスハウス，東京，pp. 53-65

喜多敏明： 東洋医学的治療．過敏性腸症候群　脳と腸の対話を求めて（佐々木大輔　編），中山書店，東京，pp. 128-132

喜多敏明： 東洋医学と園芸療法の融合．現代社会における食・環境・健康（陽　捷行　編），養賢堂，東京，pp. 95-125

小宮山政敏： 環境ホルモンの胎児への影響．医食農同源のサイエンス（安藤敏夫・池上文雄・塚越　覚・野田勝二　編），サイエンスハウス，東京，pp. 129-138

篠原温・北条雅章・丸尾達： 野菜のつくり方，誠文堂新光社，東京

---

3. 報告書

池上文雄　他： 脳・神経疾患及び筋疾患の病因解明と治療法開発のための分子薬理学的基盤の確立．平成 17 年度学術フロンティア推進事業研究成果報告書．日本大学薬学部薬学研究所

喜多敏明・飯箸泰宏・形井秀一： 健康増進サービスのための未病者 QOL 測定サイトの開発．「ちば産学官連携健康づくり推進事業」調査・研究報告書

小宮山政敏　他： 精巣上体の生後機能分化および性ホルモンによるその制御の分子機構．（16590136）平成 17 年度科学研究費補助金（基盤研究（C)(2)）研究実績報告書

小宮山政敏　他： 循環資源・廃棄物中の有機臭素化合物およびその代謝物管理のためのバイオアッセイ／モニタリング手法の開発（K1608）．平成 17 年度廃棄物処理等科学研究費補助金報告書

---

4. 総説・資料

藤井英二郎・岩崎　寛・三島孔明・権　孝?・邱　心怡・須田　歩・遠藤まどか・齋藤洋平・喜多敏明：園芸緑地資源の医学療法への利用に関する萌芽的研究．食と緑の科学，60: 109-115

池上文雄： 辛夷-葛根湯加川?辛夷．P & M Kampo，11（1），光原社，東京

池上文雄： 附子-八味地黄丸．P & M Kampo，11（2），光原社，東京

池上文雄： 人参-人参湯．P & M Kampo，11（3），光原社，東京

池上文雄： 防風-防風通聖散．P & M Kampo，11（4），光原社，東京

池上文雄： 漢方事始めー①漢方とは何か．ＨＡＢ市民新聞，命と心をつなぐ科学，第 1 号，NPO HAB 研究機構

池上文雄： 漢方事始めー②漢方薬と薬膳．ＨＡＢ市民新聞，命と心をつなぐ科学，第 2 号，NPO HAB 研究機構

池上文雄： 漢方事始めー③漢方薬と生活習慣病．ＨＡＢ市民新聞，命と心をつなぐ科学，第 3 号，NPO HAB 研究機構

喜多敏明： EBM と漢方　女性医療と漢方医療．産婦人科治療，92 増刊: 482-487

松井弘之・八幡茂木・佐藤三郎・小原　均・大川克哉・三輪正幸： ビワの無種子果実生産．植物の化学調節, 39: 106-113

松野義晴・坂上和弘・太田昌彦・宮宗秀伸・門田朋子・小宮山政敏・千葉胤道・森 千里： 千葉大学における人体骨標本の保管環境整備と医学研究の推進に向けて．千葉医学雑誌，82: 117-120

松野義晴・戸髙恵美子・小宮山政敏・深田秀樹・門田朋子・森　千里： 環境生命医学教室における研究．千葉医学雑誌，82: 35-38

並木隆雄・喜多敏明・寺澤捷年： 高血圧症と漢方薬．血圧 13 (2): 193-197

並木隆雄・関矢信康・喜多敏明・秋葉哲生・寺澤捷年： 循環器疾患の漢方薬の RCT．漢方と最新治療，15: 91-97

篠山浩文・西野文智・塚越　覚・坂本一憲・百原　新・沖津　進： 千葉県木質バイオマス新用途開発プロジェクトから山武町バイオマスタウン構想の展開へ．食と緑の科学，60: 91-97

---

5. 普及・実用記事

大釜敏正・野田勝二・小宮山政敏： 検証が進む園芸の癒しの力．私の菜園 No. 2（「自然と野生ラン」4 月号増刊），pp. 80-85，新企画出版.

塚越 覚： 国内研究紹介，農耕と園芸，3，6，9，12 月号，誠文堂新光社.

塚越 覚： 園芸技能講座「家庭菜園編」，緑風，1～12 月号，日本園芸技能協会.

---

6. 口頭発表

嵐田絵美・野田勝二・塚越　覚・喜多敏明・大釜敏正・池上文雄： ハーブを用いた園芸作業が心身に及ぼす影響．園芸学雑誌，75（別 2）：619

陳　素梅・松原紀嘉・國分　尚・児玉浩明・渡辺　均・安藤敏夫： 市販ペチュニア品種のアントシアニン合成系の解析－市販品種の Hf1 遺伝子の起源－．園芸学会雑誌，75（別 1）：177

地野充時・大野賢二・平崎能郎・林　克美・笠原裕司・関矢信康・並木隆雄・喜多敏明・檜山幸孝・寺澤捷年： 長期間にわたる愁訴が和漢薬治療により速やかに改善した症例．第 16 回漢方治療研究会

地野充時・大野賢二・平崎能郎・林　克美・笠原裕司・関矢信康・並木隆雄・喜多敏明・檜山幸孝・寺澤捷年： 延年半夏湯が有効であった 2 症例．第 63 回日本東洋医学会関東甲信越支部学術総会

古市浩之・渡辺　均・國分　尚・G., Hashimoto・安藤敏夫： Petunia と近縁属の遺伝資源解析－Petunia 野生種の花の昼夜開閉運動－．園芸学会雑誌，75（別 2）：299

林　克美・土佐寛順・大野賢二・平崎能郎・地野充時・笠原裕司・関矢信康・並木隆雄・喜多敏明・檜山幸孝・寺澤捷年： 接触鍼法が有効であった変形性膝関節症の 2 症例．第 63 回日本東洋医学会関東甲信越支部学術総会

平崎能郎・地野充時・大野賢二・林　克美・笠原裕司・関矢信康・並木隆雄・喜多敏明・檜山幸孝・寺澤捷年： 小陥胸湯を合方して胸水貯溜が改善した 1 例．第 16 回漢方治療研究会

檜山幸孝・関矢信康・並木隆雄・笠原裕司・林　克美・地野充時・大野賢二・寺澤捷年・喜多敏明： 梔子柏皮湯の適応徴候について．第 16 回漢方治療研究会

池上文雄： 身近な薬草で育む健康．沼田市・千葉大学地域間交流シンポジウム～自然に根ざした食と健康を考える～

池上文雄： 千葉県の薬草の分布と利用～現代医療の中の生薬・漢方薬への活用に向けて～．平成 18 年度東洋医学会千葉県部会学術講演会要旨集，pp. 4-10

池上文雄： 生活習慣病と産婦人科疾患の漢方薬．千葉県薬種商協会第 4 回生涯学習研修会講演要旨，pp. 1-4

池上文雄： 地球は大きな薬箱．首都圏みどり系大学サテライト講座要旨集，pp. 1-2

Ikegami, F., M. Sumino, T. Kita, T. Satoh: Pharmacology and toxicology of glycyrrhiza-containing Kampo medicines in clinical use. The 4th Intl. Congress of Asian Soc. Toxicol., Zhuhai, China. Chinese J. Pharmacol. Toxicol., 20: 166-167

井上万里子・深田秀樹・小宮山政敏・戸髙恵美子・長田久夫・油谷浩幸・森　千里： ポリ塩化ビフェニル（PCBs）および有機塩素系農薬の胎児暴露についての検討．第 9 回環境ホルモン学会（日本内分泌撹乱化学物質学会）研究発表会

石田夕子・渡辺　均・橘　大介・薬師寺圭・中村健二： 花による屋上緑化－用土厚の違いが灌水回数・灌水量および地温に及ぼす影響－．園芸学会雑誌，75（別 1）：216

石井真由子・草間国子・山本誠人・須田篤博・草間　貞・池上文雄・渡辺和子： L-β-ODAP による初代培養運動神経の $[Ca^{2+}]i$ 動態と細胞死．日本薬学会第 126 年会講演要旨，3: 132

伊藤　隆・仙田昌子・山本佳乃子・鏡味　勝・斉藤康栄・青柳晴彦・喜多敏明： 心理テストによる証解析の試み．第 23 回和漢医薬学会大会

岩崎　晃・松原紀嘉・陳　素梅・山村里佳・児玉浩明・國分　尚・渡辺　均・安藤敏夫： 市販ペチュニア品種のアントシアニン合成系の解析－市販品種における Fls 遺伝子の多型－．園芸学会雑誌，75（別 2）：338

金子光彦・渡辺　均・橘　大介・薬師寺圭・石田夕子・吉岡孝治： 屋上緑化向けグランドカバープランツの評価．園芸学会雑誌，75（別 1）：214

笠原裕司・並木隆雄・関矢信康・地野充時・林　克美・檜山幸孝・大野賢二・寺澤捷年・平崎能郎・喜多敏明： 随証治療が奏効した小児腹痛の 1 例．第 16 回漢方治療研究会

笠原裕司・並木隆雄・関矢信康・地野充時・林　克美・檜山幸孝・大野賢二・寺澤捷年・平崎能郎・喜多敏明： 香蘇散が奏効した噫気の 1 例．第 63 回日本東洋医学会関東甲信越支部学術総会

笠原裕司・並木隆雄・関矢信康・地野充時・林　克美・大野賢二・寺澤捷年・喜多敏明・小暮敏明・巽武司： 茯苓四逆湯が奏効した MRSA 感染症の 1 例．第 56 回日本東洋医学会学術総会

片倉直子・野田勝二・大釜敏正・小宮山政敏・本田彰子・根本敬子・喜多敏明・山本則子・石垣和子： 在宅精神障害者への園芸作業と看護相談をとりいれた社会復帰支援プログラムの試み．園芸学会平成 18 年度秋季大会・園芸学雑誌，75（別 2）：435

喜多敏明： 東洋医学と園芸療法の融合．第 1 回北里大学農医連携シンポジウムー農・環境・医療の連携を求めてー

喜多敏明： 柴胡剤について．日本東洋医学会・専門医制度委員会主催学術講演会

喜多敏明： 陰陽・虚実・気血水の病態．平成 18 年度千葉大学大学院薬学研究院・薬友会「卒後教育研修講座」

喜多敏明： 精神症状に対する漢方治療 ー証の心理的側面を捉えるー．第 57 回日本東洋医学会学術総会（シンポジウム）

喜多敏明： 漢方医学への提言とまとめ ーコンテクストからみた漢方理論ー．第 56 回日本東洋医学会学術総会（教育講演）

喜多敏明・飯箸泰宏・形井秀一： 健康増進サービスのための未病者 QOL 測定サイトの開発．平成 17 年度「ちば産学官連携健康づくり推進事業」成果発表会合同フォーラム

喜多敏明： 心理テストによる証解析の試み．第 23 回和漢医薬学会大会

喜多敏明： 五臓論．日本東洋医学会平成 18 年度専門医試験受験者対象の特別研修会

喜多敏明： 明日から使える実地医家のための漢方講座（入門編）　第 1 回「消化器疾患編」．柏市医師会学術講演会

喜多敏明： ストレス疾患に対する漢方薬処方のこつ．第 63 回日本東洋医学会関東甲信越支部学術総会（特別講演）

喜多敏明： 明日から使える実地医家のための漢方講座（入門編）　第 2 回「呼吸器疾患編」．柏市医師会学術講演会

喜多敏明： 漢方受療者の QOL 低下タイプ分類と東洋型未病対策への活用．第 12 回日本未病システム

学会大会

喜多敏明・形井秀一： 未病者 QOL タイプ分類の作成と有用性の検証．第 13 回日本未病システム学会大会

喜多敏明・角野めぐみ・檜山幸孝・並木隆雄・関矢信康・笠原裕司・地野充時・林克美・平崎能郎・大野賢二・寺澤捷年： 腹部膨満感に?帰調血飲が奏効した二例．第 16 回漢方治療研究会

喜多敏明・角野めぐみ・大野賢二・川嶋裕子・並木隆雄・関矢信康・地野充時・寺澤捷年： 漢方治療と健康関連 QOL（1）－気虚・気鬱の重症度に関する検討－．第 56 回日本東洋医学会学術総会

國分 尚・渡辺 均・安藤敏夫： オタネニンジン栽培の効率化に関する研究　オタネニンジンの光合成特性．園芸学会雑誌，75（別 2）：169

草間国子・曲尾佳織・中茎美紀子・西前好正・須田篤博・池上文雄・草間　貞・渡辺和子： L-β-ODAP 投与連続投与ラット脊髄における変化の定量解析．日本薬学会第 126 年会講演要旨，3: 133

Miwa, M., S. Yahata, H. Ohara, K.Ohkawa , H. Matsui: Effects of applications of gibberellins combined with forchlorfenuron （CPPU） on induction of seedless fruit and development in triploid loquat. 10th Intl. Sympo. on Plant Bioregulators in Fuit Production, Abst: 59

Miwa, M., S. Yahata, H. Ohara, K.Ohkawa, H. Matsui: Endogenous gibberellin-induced parthenocarpy in triploid loquat. 27th Intl. Hortic. Congress & Exhibition, Abst: 310

宮宗秀伸・門田朋子・松野義晴・小宮山政敏・太田昌彦・穴原玲子・高島杏佳・川城由紀子・森　千里：千葉大学における大学院医学修士学生に対する解剖学教育の試み．第 111 回日本解剖学会総会・全国学術集会

持田陽司・深田秀樹・戸髙恵美子・松野義晴・山浦真弓・小川二美代・安井悦子・森　千里： 臨床環境医学において必要となる専門家と一般の方との架け橋．第 15 回日本臨床環境医学総会

森　千里・井上万里子・深田秀樹・小宮山政敏・戸髙恵美子・長田久夫・油谷浩幸： 臍帯を用いたヒト胎児の化学物質複合汚染の影響評価法の開発について：化学物質曝露状況と遺伝子発現に関する双子を用いた検討．第 6 回分子予防環境医学研究会

Mori, C., E. Todaka: The necessity to establish and propagate the contamination level check to protect the future generations - by the levels of PCBs and mercury. Health risk management for environment and labour

森　千里・戸髙恵美子・深田秀樹・松野義晴・中岡宏子： 環境ユニバーサルデザインの提唱「ケミレスタウン・プロジェクト」の取り組み．第 15 回日本臨床環境医学総会

森　千里・戸髙恵美子・中岡宏子・渡辺久美子： 健康に影響する環境負荷低減による持続可能な社会の実現：未来世代のための街づくり「ケミレスタウン（化学物質削減を目指した街）・プロジェクト」．IR3S 国際シンポジウム「調和社会と持続可能な発展」

並木隆雄・大野賢二・平崎能郎・林　克美・地野充時・笠原裕司・関矢信康・喜多敏明・檜山幸孝・寺澤捷年： 『方伎雑誌』における尾台榕堂の処方運用法の特徴．第 16 回漢方治療研究会

並木隆雄・大野賢二・平崎能郎・林　克美・地野充時・笠原裕司・関矢信康・喜多敏明・檜山幸孝・寺澤捷年： 西洋薬の使用困難により当帰湯エキス製剤でコントロールしている狭心症の 1 例．第 63 回日本東洋医学会関東甲信越支部学術総会

並木隆雄・関矢信康・笠原裕司・地野充時・林　克美・大野賢二・喜多敏明・寺澤捷年： 皮膚湿潤度の客観化指標についての検討．第 56 回日本東洋医学会学術総会

Ohara, H., M. Miwa, S. Yahata, K.Ohkawa, H. Matsui: Effects of different concentrations of GA3 in combination with or without CPPU on induction of seedless fruit set and development in triploid loquat. 10th Intl. Sympo. on Plant Bioregulators in Fuit Production, Abst: 60

Ohara, H., M. Ungsa, K. Ohkawa, Y. Sugiyama, K. Yoshikawa, H. Matsui: Effect of ethychlozate in combination with ammonium nitrate on fruit thinning in 'Takabayashi-wase' Satsuma mandarin (Citrus unshu Marc.). 27th Intl. Hortic. Congress, Abst: 310

Ohkawa, K., K. Tsuchiya, H. Ohara, H. Matsui: Effects of combined treatment of CPPU and GA on fruit characteristics of several Japanese pear cultivars. 27th Intl. Hortic. Congress, Abst: 308

大川克哉・小原　均・北条壽一・久保田直樹・谷口誠浩・松井弘之： ニホンナシに対する MAE30 の摘花効果．園芸学会雑誌，75(別 2): 158

Ohmichi, K., M. Komiyama, Y. Matsuno, Y. Sawabe, H. Miyaso, E. Todaka, H. Fukata, M. Ohmichi, T. Kadota, F. Nomura, C. Mori: Measurement of blood IgE in individuals exposed to formaldehyde. Society of Toxicology 45th Annual Meeting

大野賢二・鄭　和珍・丸山征郎・喜多敏明・寺澤捷年・谿　忠人： 血管内皮細胞傷害後の内膜肥厚病変を予防する漢方方剤－防風通聖散を中心にして－．第 12 回日本未病システム学会大会

大野賢二・喜多敏明・角野めぐみ・並木隆雄・関矢信康・笠原裕司・地野充時・寺澤捷年： 漢方治療と健康関連 QOL（2）－治療効果と下位尺度との関係－．第 56 回日本東洋医学会学術総会

齋藤洋平・岩崎　寛・喜多敏明・三島孔明・藤井英二郎： 関節リウマチ患者に対する園芸療法の効果に関する研究．人間・植物関係学会 2006 年大会

新藤　聡・渡辺　均・石井義久・石渡正紀・工藤章英・浦　康雄： 高圧ナトリウムランプの近接光照射による花き栽培技術の開発．園芸学会雑誌，75（別 2）：595

角野めぐみ: 漢方調剤と服薬指導の実際－薬局の立場から－. 平成 18 年度千葉大学大学院薬学研究院・薬友会「卒後教育研修講座」

角野めぐみ・喜多敏明・大野賢二・並木隆雄・関矢信康・笠原裕司・林　克美・寺澤捷年： 漢方治療と健康関連 QOL（3）－日常役割機能に関する検討－．第 56 回日本東洋医学会学術総会

Takashima-Sasaki, K., H. Fukata, C. Mori, M. Komiyama: The combined effect of isoflavone and E2 on vaginal opening of female mice. Soc. of Toxicol. 45th Annual Meeting

戸髙恵美子・深田秀樹・森　千里： 血中総 PCB 濃度を用いた未来世代のための環境予防医学確立の試み ― 持続可能な健康社会を目指して．第 9 回環境ホルモン学会研究発表会

Todaka, E., H. Nakaoka: What is sustainability science? International Workshop on Sustainability Science and Environmental Health

Todaka, E., N. Omori, C. Mori: The establishment of environmental preventive medicine to protect future generations, using the data of PCBs in human blood. The fourth PCB Workshop Recent Advances in the Environmental Toxicology and Health Effects of PDBs

渡辺　均・安藤敏夫・町田　誠・G. Hashimoto・E. Marchesi・E. Suarez： ペチュニアと近縁属の遺伝資源解析　ペチュニア野生種の種子休眠と休眠打破法．園芸学会雑誌，75（別 1）：176

Yamazaki, K., T. Adachi, K. Sato, Y. Yanagisawa, H. Fukata, N. Seki, C. Mori, M. Komiyama: Identification and characterization of novel and unknown genes and effects of neonatal diethylstilbestrol treatment on these genes expression levels in mouse epididymis. Soc. of Toxicol. 45th Annual Meeting

柳澤佑太・山崎康司・森　千里・小宮山政敏： 新生仔期 diethylstilbestrol 曝露がマウス精巣上体のア

クアポリンの遺伝子発現に及ぼす影響．第 25 回日本アンドロロジー学会総会

柳澤佑太・山崎康司・森　千里・小宮山政敏： 新生仔期 diethylstilbestrol 曝露がマウス精巣上体におけるアクアポリンの発現に与える影響．第 21 回日本生殖免疫学会総会･学術集会

Yanagisawa, Y., K. Yamazaki, C. Mori, M. Komiyama: Effects of neonatal exposure to diethylstilbestrol on aquaporin gene expression levels in mouse epididymis. Soc. of Toxicol. 45th Annual Meeting

Yoshino, N., K. Kusama-Eguchi, A. Negishi, A. Suda, F. Ikegami, K. Watanabe: Role of sulfur-containing amino acids on the neurotoxicity of L-ß-ODAP, the causative amino acid of human neurolathyrism contained in *Lathyrus sativus* L. (grass pea). The 18th Japan-Korea Joint Seminar on Pharmacology.

---

7. 計画・設計

なし

---

8. 特許

なし

---

9. その他

池上文雄： 健康な生活に生かすハーブ．浦安市美浜公民館公開講座

池上文雄： 身近な薬草と健康．流山市ゆうゆう大学講座

池上文雄： 続・植物に学ぶ健康．第 29 回環境健康講演会

池上文雄： 草木は病を治す．第 2 回千葉サプリメント医療薬学研究会講演会

池上文雄： 薬草ってなんだろう．第 9 回夏休み薬草教室

池上文雄： 食生活の改善と薬草・生薬．平成 18 年度 SPP 沼田市教員研修講演会

池上文雄： 自然が育む健康－身近な薬草・生薬－．柏市健康推進課健康講演会

池上文雄： 薬用植物について．平成 18 年度千葉県高等学校教育研究会第 2 回研修会

池上文雄： 身近な薬草と健康．千葉大学　柏北・柏西高校　高大連携事業講座

池上文雄： 医食農同源のサイエンス．帝國製薬 Herbal Medicine Today

池上文雄： 漢方エキス剤と臨床研究．帝國製薬 Herbal Medicine Today

喜多敏明・飯箸泰宏・形井秀一： 健康増進サービスのための未病者 QOL 測定サイトの開発．平成 17 年度　千葉大学環境健康フィールド科学センター成果発表会

喜多敏明： 東洋医学と健康まちづくり．第 32 回環境健康講演会

喜多敏明： 東洋医学と健康まちづくり．千葉大学環境健康フィールド科学センター祭ミニ講演会

喜多敏明： 女性の不定愁訴．第 8 回東京臨床漢話会

喜多敏明： 『消化器疾患』の漢方治療．郡山漢方研究会

喜多敏明： 心と体を診る東洋医学の匙加減．第 5 回 KAMPO EYES シンポジウム　実地臨床分科会講演会

喜多敏明： 『運動器疾患』の漢方治療．郡山漢方研究会

喜多敏明： 五臓論の新展開 －科学的漢方研究のヒントー．杏林東洋医学研究会（特別講演）

喜多敏明： 腰痛，関節痛に対する漢方治療．昭和大学第 60 回東洋医学研究会

喜多敏明： 『呼吸器疾患』の漢方治療．郡山漢方研究会

喜多敏明： ストレスと漢方／冬に使える漢方薬．水戸漢方入門セミナー

Kita, T.： Combining Oriental medicine with horticultural therapy．Newsletter: Agriculture, environment, and medicine，No.18，23-25

喜多敏明： 柏の葉診療所の東洋医学と園芸療法．ビオシティ，35: 28-31

喜多敏明： 医食農同源思想に基づく健康まちづくりについて．「地域資源を活用した健康療法（健康増進プログラム）」に係る勉強会

喜多敏明： QOL と未病．Herbal Medicine Today

松本　毅： ツボと健康．千葉大学環境健康フィールド科学センター祭ミニ講演会

小原 均・三輪正幸： 平成 18 年度千葉県内果樹関係成績検討会．検討会資料：24-25

徳山郁夫：「コミュニケーションからライフスタイルを考える」みんなと学ぶ自己発見⑥文化との出逢い，環境健康講演会特別シリーズ

徳山郁夫：「コミュニケーションからライフスタイルを考える」みんなと学ぶ自己発見⑦ハラハラ・ドキドキ（"想定外"との出逢い），環境健康講演会特別シリーズ

徳山郁夫・林　寿夫：「コミュニケーションからライフスタイルを考える」みんなと学ぶ自己発見⑧体験学習，環境健康講演会特別シリーズ

徳山郁夫：「コミュニケーションからライフスタイルを考える」みんなと学ぶ自己発見⑨Be Here，環境健康講演会特別シリーズ

徳山郁夫：「コミュニケーションからライフスタイルを考える」みんなと学ぶ自己発見⑩あなたは誰？どこから来たの？そして、どこへ行くの？，環境健康講演会特別シリーズ

徳山郁夫：「コミュニケーションからライフスタイルを考える」みんなと学ぶ自己発見⑪健康とコミュニケーション，環境健康講演会特別シリーズ

徳山郁夫：「コミュニケーションからライフスタイルを考える」みんなと学ぶ自己発見⑫答はからだのなかにある，環境健康講演会特別シリーズ

徳山郁夫： 大人の遊び時間．千葉大学環境健康フィールド科学センター祭ミニ講演会

徳山郁夫： 「"まちの元気"とコミュニケーション」①現代社会の課題とコミュニケーション，環境健康講演会特別シリーズ

徳山郁夫： 「"まちの元気"とコミュニケーション」②生涯学習のまち，環境健康講演会特別シリーズ

徳山郁夫： 「"まちの元気"とコミュニケーション」③創造性のエネルギー，環境健康講演会特別シリーズ

徳山郁夫： 「"まちの元気"とコミュニケーション」④文化と街，環境健康講演会特別シリーズ

塚越　覚： 養液栽培"超"入門，第 30 回環境健康講演会

渡辺　均： 屋上・壁面を植物で飾る．千葉大学環境健康フィールド科学センター祭ミニ講演会